

Windows 11へ無料更新

Windows 11の最新OS (基本ソフト) のWindows 11が10月5日に提供開始された。現在主流のWindows 10搭載パソコンは、今後どうすればいいの？ 調べてみた。 (配信部 東一真)

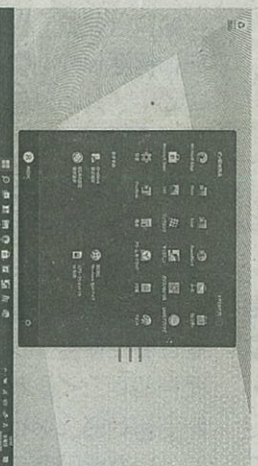
対応PCが、簡単に確認

デザイン刷新

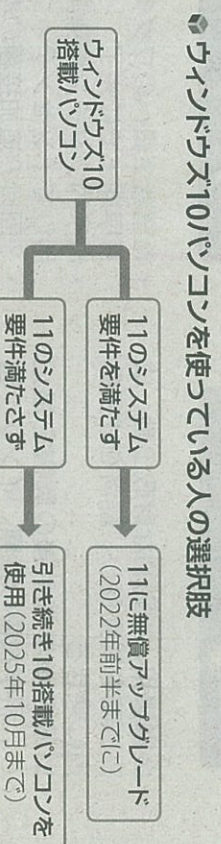
Windows 10では、「10」と「11」の違いについて、「同じペーパーとセキュリティを備えています。デザインを刷新し、装いが新たにになりました」と説明している。

例えば、「11」ではスタートボタンをクリックした時に表示されるスタートメニューは画面中央に出現し(写真①)、全アプリではなくお薦めアプリが表示されるなど、デザインが異なる。また、チャットやテレビ会議ができるアプリ「マイクロソフト・チームズ」を標準搭載したのも特徴だ。

マイクロソフトのアクセス解析企業スタートカウンター調査では、今年9月時点で国内のWindows 10が搭載されている。Windows 10が搭載されている。Windows 10が搭載されている。Windows 10が搭載されている。



写真①



写真②

このPCでWindows 11を実行できますか? お使いのPCはWindows 11の最小システム要件を満たしています。具体的なお届け時期は、準備の報告上、変動する可能性があります。

注意:一部のWindows 10機能はWindows 11では使用できません。アプリや機能によっては、追加の要件がある場合があります。マイクロソフトの社説を確認する

写真③

Windows 11へのアップデートの準備ができました。しかも無料です! 最新バージョンのWindowsを取得し、新しい外観、新しい機能、強化されたセキュリティ。注意:一部のWindows 10機能はWindows 11では使用できません。アプリや機能によっては、追加の要件がある場合があります。マイクロソフトの社説を確認する

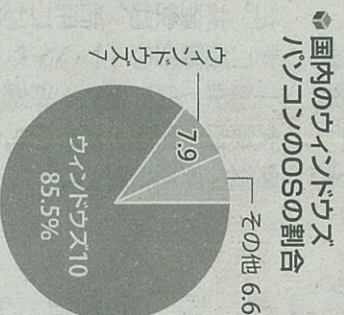
マイクロソフトの社説

今はWindows 10の使用を継続します

システム要件とは、CPU(中央演算処理装置)の性能や、メモリーの容量、情報を保存するストレージの容量などだ。現在「10」を搭載しているパソコンでも、システム要件が不十分で「11」に対応しない機種もある。特にCPUでは、性能的には十分のように見えても、対応していないものがある。

プログラム配信

現在お使いの「10」搭載のパソコンが、「11」のシステム要件を満たしているかどうかは、簡単に分かる。パソコンで、左下のスタートボタンをクリック



※9月現在、スタートカウンター調査

する。次に歯車マークの「設定」をクリックし、次の画面で「更新とセキュリティ」をクリックしよう。出てきた「Windows Update」のページに、「11」に対応しているかどうかの表記があるはずだ(写真②)。ない場合は「更新プログラムのチェック」を押す。マイクロソフトでは、システム要件を満たしているパソコンには、2022年前半までに順次、「11」のプログラムを配信する予定だ。配信されたら「Windows Update」のページにお知らせが表示される(写真③)ので、アップデートしよう。

「10」は25年まで

逆に「11」の要件を満たしていないパソコンには、アップデートされない。ただ、マイクロソフトでは、Windows 10を、25年10月14日までサポートすると宣言している。あと4年は「10」のパソコンでも安全に使える。しかし、サポート期間終了後に使い続けられればウイルスに感染

しやすくなるなど安全ではなくなる。サポート期間が残っている間に、「11」搭載のパソコンなどに買い替える必要がある。パソコン内にあるいろいろなアプリを整理したり引っ越したりする計画を立てておこう。なお、現在店頭で販売されているパソコンで「10」が搭載されているものも多い。ほとんどは「11」に更新可能と見られるが、念のため確認した上で購入しよう。

マイクロソフトが定めるシステム要件を満たしている「11」に更新可能なパソコンでも、アップデートしたら、パソコンメーカーが独自に入れているアプリなどが動かなくなる可能性もある。NECパーソナルコンピュータの鈴木正義広報部長は「各メーカーのホームページには、「11」に問題なくアップデートできる機種のリストがあるはずなので、自分の機種がそれに該当するかどうかな確認した方がよいでしょう」と話している。

知って

おこう 定めるシステム要件を満たしている「11」に更新可能なパソコンでも、アップデートしたら、パソコンメーカーが独自に入れているアプリなどが動かなくなる可能性もある。NECパーソナルコンピュータの鈴木正義広報部長は「各メーカーのホームページには、「11」に問題なくアップデートできる機種のリストがあるはずなので、自分の機種がそれに該当するかどうかな確認した方がよいでしょう」と話している。